

## 能勢町産材に関するヒアリング結果

### 1 概要

能勢町産材や大阪府内産材の現状について森林組合豊能支店に対し、ヒアリングを実施した。

### 2 ヒアリング結果

#### (1) 能勢町産材の生産について

- ・能勢材の生産量は約 1,000-1,300 m<sup>3</sup>/年。年による変動はある
- ・生産した材の流通先については以下のとおり。

(1,000 m<sup>3</sup>生産した場合)

出荷先	数量 (割合)	備考
市場 (丸太)	700 m <sup>3</sup> (70%)	丸太を製材して材木にする過程で、半分ロスがあるので、材木として利用できるのは 350 m <sup>3</sup> 。不燃処理をする場合、辺材しか利用できないため、利用できるのは半分以下となる (175 m <sup>3</sup> )。不燃処理が不要であれば心材も利用できる (例: カウンター、机、椅子等の備品類、1.2m以下の腰壁等)。
内部利用 (自社加工)	300 m <sup>3</sup> (30%)	・チップとして出荷 ・直売で大手の製材所に売る。比較的高値で買い取ってもらえるが、規格が指定されているので、端材が発生してしまう。

#### (2) 伐採時期

- ・根が水を吸わない、冬場 (11~2 月) が伐採に適した時期。施工時の木材調達を検討する際も、伐採できる時期を考慮する必要がある。

#### (3) 能勢町産材の加工について

- ・森林組合の製材工場は高槻と河内長野の 2 か所。小ロットについては高槻で、大ロットについては河内長野で対応している。能勢にも簡単な加工をする施設がある。
- ・加工施設にも処理能力に限りがあるので、大量の木材を調達する場合は、より多くの調達期間を要することになる。